

全国花火名人選抜競技大会 ふくろい遠州の花火2018

開催要項

全国花火名人選抜競技大会ふくろい遠州の花火は、1995年、花火の質・量を高め多くの方に花火の楽しさを発信するため、「静橋」付近にて開催されていた花火大会の会場を原野谷川親水公園に移しました。2年後の1997年には、12社の花火会社参加による全国花火名人選抜コンクール（現在：全国花火名人選抜競技大会）を開催し、全国から選りすぐりの花火名人を招聘して規模を広げました。

2012年からは、文化庁より全国花火名人選抜競技大会における日本伝統の花火文化と煙火技術、芸術性を評価いただき、優勝者に文部科学大臣賞が授与されることとなり、全国屈指の花火大会として地位を確立しております。

本年の第21回全国花火名人選抜競技大会では、当花火大会の礎を築いた豊田順介氏（袋井商工会議所元会頭）、小口昭三氏（日本煙火芸術協会元会長）お二人の特別賞を新設し、大会は新たな一步を踏み出します。「花火の町ふくろい」の定着に向けて、周辺地域のイベント等と広域連携し、花火をキーワードとして地域の魅力を全国に発信していきます。また、来場者、会場周辺住民、関係者の安全・安心にも十分配慮し、地域力を結集して円滑な大会運営に臨み、100年先まで続く大会を目指します。

1. 2018大会テーマ

「花火の町ふくろい」～ 平成の^{きらめ}煌き ^{あす}明日にかける橋～

本年は「平成」の最後の大会となります。「平成」に誕生した“ふくろい遠州の花火”は今日に至るまで多くの人々が関わり、多くの人々の心と記憶にそれぞれの花火の思い出が刻まれています。時代はまさにクライマックス、次の時代につなぐ平成の煌き花火をドーンとお届けします。

2. 開催方針

開催にあたっては、大会テーマ「花火の町ふくろい～平成の煌き 明日にかける橋～」を実現し、花火の町ふくろいの定着と大会の継続実施のため、開催方針を以下の4つの軸を元に具体的取り組みを示します。

- (1) オール袋井体制で安全・安心・安定した大会運営
- (2) 花火ブランド価値向上
- (3) 「花火の町 ふくろい」の発信
- (4) 郷土愛を育み子供たちの未来につなげる活動支援

3. 具体的な取り組み

- (1) オール袋井体制で安全・安心・安定した大会運営
 - ①袋井警察署、袋井消防署、袋井土木事務所、袋井市役所等に指導協力を仰ぐ。
 - ②自治会と連携し、会場及び会場周辺の雑踏対策・交通渋滞等の安全対策を効果的に行う。
 - ③効果的なガードマン配置、看板設置により、未然に事故防止を図る。
 - ④袋井・愛野両駅を効率的に利用した誘導対策を行う。
 - ⑤打ち上げにあたっては十分な安全確認をして進行する。

- ⑥雑踏対策として売店をエリア別に安全確認のうえ配置をする。
- ⑦会員売店、露天商の発電機、火気取扱い、衛生面の安全対策を継続して徹底する。
- ⑧万一の事故に備え賠償保険の内容を充分検討の上加入する。
- ⑨自然災害発生時の対応を市と協議し対策を強化する。
- ⑩熱中症患者ゼロを目標に対策を行う。
- ⑪迷惑駐車根絶に向けた対策を行う。
- ⑫喫煙マナー向上のため有料観覧エリアを禁煙とする。
- ⑬大会本部を中心に従事箇所への指示連絡チェック体制を強化する。
- ⑭従事箇所ごとに内容、対策の共有化を図るため事前説明会を徹底する。
- ⑮役員一丸となって企業協賛を募り、健全な財政を維持し、限られた予算を有効かつ効率的な執行で円滑な大会運営を実現する。

(2) 花火ブランド価値向上

- ①文部科学大臣賞を冠に煙火芸術を競演する全国花火名人選抜競技大会を開催する。
- ②(一社)日本花火推進協力会提供の特別花火プログラムへの協力
- ③趣向を凝らした企業花火と競技大会花火の多彩なプログラム編成で観客が感動しまた見たくなる花火大会を実施する。
- ④間近で音と光の総合芸術としての花火を堪能し感動できる有料観覧席を設ける。
- ⑤花火発祥の地である三遠南信の花火文化をプログラムに取り入れ広域連携を図る。

(3) 「花火の町ふくろい」の発信

- ①花火もりあげ大使を任命し「花火もりあげ隊」によるメディアと連携したPRを行う。
- ②JR 袋井駅前でおもてなし活動を行う。
- ③映画「明日にかけける橋」の撮影地として映画のプロモーションに協力する。
- ④ラジオ放送と協力し花火川柳コンクールを実施し「花火川柳」(商標登録出願中)の普及を図る。
- ⑤beyond2020 認証プログラムとして、国際化対応のため公式ホームページの外国語版、会場内看板の外国語併記を検討する。(認証番号：a001001251)
- ⑥BS 放送でのライブ中継を検討する。
- ⑦花火イメージキャラクターのゆるキャラ「どまんニヤカ」を積極的に活用する。
- ⑧袋井商工会議所創立 25 周年、ベトナム商工会議所との MOU 協定締結 5 周年、釜石商工会議所との友好商工会議所協定締結 5 周年のメモリアルイヤーであることを発信する。

(4) 郷土愛を育み子供たちの未来へつなげる活動支援

- ①市内小中学校を対象に第 19 回絵画コンクールを実施する。
- ②県内の高校生を対象に第 7 回フォトコンテストを実施する。
- ③市内小中学校、高校生、大学生各種団体等の協力を仰ぎ大会翌日クリーンアップ作戦を実施する。
- ④ワールドカップ 2019 開催地として子供たちのラグビー普及活動を花火こども有徳基金を通して支援する。